

“きび考”

第 15 号

2017 年(平成 29 年 2 月)

先史古代研究会

目次

		ページ
○ 28年11月例会報告	例会担当 丸谷憲二	1
○ 熊山霊仙寺と唐招提寺を結ぶ、鑑真の櫛伝承の再現	会員 丸谷憲二	1
○ 地名と苗字から歴史を探る 1.地名から観える渡来文化 2.阿知の地名について 3.明治における苗字に関する法令 4.地名の変遷 5.苗字と地名について	会員 井上秀男	4
○ 連載=四国八十八ヶ所めぐり「歩き路の旅」13 涅槃の道場 香川県(讃岐の国) その1	会員 樋口俊介	8
○ 古の散策を エッセーで紹介 1.一歩と半歩の違いに時代を感じる 2.セキレイ(鶺鴒)は古よりの身近な仲間 子孫繁栄 3.縄文人と弥生人の関りを記紀に見る(猿田彦のこと) 4.吉備の主基田(すきでん)紀行 5.伊勢神宮の式年遷宮を考える 6.宮筒(みやげ)の煙草入れ 伊勢路に残る技	会員 山崎泰二	14
○ 秦王国の所在地と秦氏の祖・弓月君の故郷弓月国の考察	会員 丸谷憲二	23
○ 編集後記	編者 山崎泰二	28

会員の近況紹介(4) 中西厚氏



中西厚氏が、「ふるさと再発見 草ケ部の物語」を出版されたのは、平成23年12月1日です。オールカラーであり、オンディマンド印刷に驚かされました。HPのタイトルは、「私の花畑にようこそ」です。

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~nakanishi/>

平成26年4月の先史古代研究会4月例会で、「草ケ部法追(ホウエ)貝層の現状報告」を発表されました。平成26年の「きび考 第9号」に、「中尾・大膳池、製鉄遺跡発見報告書」を私と共同で寄稿しました。平成27年6月発行の「きび考 第12号」の私の寄稿「一遍聖絵に描かれる熊山遺跡の考察」の本文に、「中西厚氏の指摘」として登場しています。「熊山遺跡群調査研究会」の会報とホームページ担当です。私と吉備国の古代製鉄、特に備前国の古代製鉄を共同研究しています。熊山の古代製鉄については、熊山の褐鉄鉱「ます石」を使用して製鉄実験を行います。「黄鉄鉱が変質して褐鉄鉱に変わったもの」です。沼村の江戸時代の倭約令の立札を発見し、平成26年6月28日付の山陽新聞に紹介されました。7月12日には、浮田小学校での、江戸期生活解説の授業風景が紹介されました。イノシシ用の竹製捕獲檻の開発は、「ゆるくらジャーナル」に、「前だけ竹でもイノシシ捕れた」として紹介されています。「坂の上の我が家までモノレール」も紹介されました。多方面の精力的な活動が知られています。現在81歳、私のパソコンの先生です(紹介担当 丸谷)